

(4) 3歳児

3歳児 活動事例 1

プールで遊ぼう (8月)

観点 ( 生活 )

視点 ( 健康 ~げんきいっぱい~ 運動 )

【遊びの経過】

子どもたちは、夏ならではの遊び (泥んこ・しゃぼん玉・色水・洗濯ごっこなど) を、友達と一緒に思いきり楽しんできた。プールでのさまざまな遊びも経験し、もっとプールでの遊びを楽しみたいという気持ちが高まってきた。

【ねらい】

プールの中でいろいろな動きを楽しむ。

【○幼児の活動 ★環境の構成 ■保育者の援助】

★プール遊びの危険性を知らせるとともに、複数の職員を配置して安全面に留意する。

○プールの中で動物 (あひる・ワニなど) のまねっこをして遊ぶ。

ガーガーガー。  
あひるさんだよ。  
【意欲】

ぼくは、象  
になるよ。  
【表現】

こういうのもでき  
るよ。【自己発揮】

〇〇ちゃんの動き、  
おもしろいなあ。  
【多様な動き】

- 子どもの発想から、いろいろな動きをまねて遊べるように、知っている動物の名前や動きを出し合う場を設定する。
- 怖がる子どもには、動物のまねっこ遊びが楽しめるように、まねる動物を自分で選んでなりきって遊べるようにする。

○プールの中でかけっこ遊びをする。

水の中を走  
って難しい。  
【気付き】

用意、ドン。  
【意欲】

先生、見て。やってみるよ。  
【自己発揮】 【チャレンジ】

足を上げて走  
ろう。【多様な動き】  
【思考】

- 水の中でかけっこをすることで、いろいろな動きを経験するとともに、水の感触や水の中で体を動かすコツをつかめるようにする。
- スタートの合図をしたり、保育者も一緒に走ったりすることで、場を盛り上げ、水の中で体を動かしたくなるようにする。
- 自分なりの工夫した動きを引き出せるように、かけっこを何度も繰り返す。

★プールの底にいる魚を自分なりの方法でとれるようにするために、大きさや形が違う魚を用意する。

○魚とりをして遊ぶ。

いっぱい  
とろう。【意欲】

先生、見て。  
とったよ。  
【満足感】

とってあげよ  
うか。【自信】

がんばれ。【応援】

足でとれるよ。  
【多様な動き】

- 上手くとれない子どもには保育者が手助けをし、一緒にとれるようにしていく。
- いろいろなとり方をしている子どもを紹介し、友達の動きをまね、たくさんの動きに挑戦しようとする気持ちを高める。

【評価】

・多様な動きに挑戦しながら、友達と一緒にプール遊びを楽しんでいる。

### 3歳児 活動事例2

### お月見団子を作ろう（9月）

観点（ 興味・関心 ）

視点（ 意欲 〜おもしろそうだな〜 ）

#### 【遊びの経過】

「これはなに。」「どうやってできるの。」など、身のまわりの物事に関心をもって遊んでいる。「お月見」に関する絵本の読み聞かせをしたところ、月やお団子作りへの興味・関心が高まってきた。

#### 【ねらい】

季節の行事（十五夜）に関心をもち、月見団子作りを楽しむ。

#### 【○幼児の活動 ★環境の構成 ■保育者の援助】

★「お月見」に関する絵本や秋の自然物コーナーを設けておく。

○月見の話をする。

大きかったよ。まんまるだった。【発見】

うさぎがいた。木に登っていた。【思考】

絵本と同じだ。【気づき】

団子を作って食べたいな。【意欲】

■前日が十五夜だったことを話題にするために、「お月見」に関する絵本を再度読み聞かせて、月を見たかどうか問いかける。

■月についての子どもたちの言葉を受け止め、団子作りへの期待感につなげる。

★ボール・お皿・団子粉・水を準備しておく。（人数分）

○月見団子を作って食べる。

おもちみたい。【気づき】

どんな形にしようかな。【意欲】

これがお団子になるのかなあ。【興味・関心】  
【疑問】

手にくっつくよ。【気づき】

こんなにできた。【達成感】

やったあ。【達成感】

わたしが作った団子だよ。【満足感】

お月さまみたいにまんまるだ。【気づき】

自分で作るとおいしい。【満足感】

また作ろうね。【意欲】

■一人一人のペースで自分のやりたいように団子作りを楽しめるように、粉と水を入れたセットを人数分用意する。

■子どもたちの前でやり方を見せることで、自分もやりたいという気持ちを高める。

■自分で作る姿を認めていく。

■みんなで作る楽しさを感じられるような雰囲気づくりに努める。

■団子をゆでてもらった調理員から、「おいしそうだね。」などと声をかけてもらうことで、団子を作ったことへの満足感や達成感を味わえるようにする。

■「おいしいね。」と一緒に喜びを伝えあうことで、また作りたいという意欲を高める。

#### 【評価】

・月見について話したり聞いたりするとともに、自分から進んで団子作りを楽しんでいる。

3歳児 活動事例3

紙コップロケットを飛ばそう！（7月）

観点（興味・関心） 視点（探究心 ～どうしてかな～）

【遊びの経過】

友達同士のやりとりが多くなり、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようになってきた。「もっとこうしたい」という気持ちをもって遊んでいる様子も見られる。紙コップロケットを飛ばして遊びたいという気持ちが高まっている。

【ねらい】

自分で作った紙コップロケットを飛ばすことを楽しむ。

【○幼児の活動 ★環境の構成 ■保育者の援助】

★紙コップのロケットを飛ばして遊べる場所（遊戯室）と時間を確保する。



○二人組で紙コップのロケットで遊ぶ。

遠くまで飛ばしたいなあ。【意欲】  
【興味・関心】

どうしたら飛ぶのかな。【疑問】

ここを持つよ。やってみて。【探究心】

ぼくも飛ばすよ。【意欲】

いっぱい息を入れるよ。【思考】

もう1回やるよ。【チャレンジ】

○みんなで紙コップロケットを飛ばす。

「パーン」ってやってみて。【提案】

ほら、よく飛ぶよ。【満足感】

飛んだよ。うれしいな。またしようね。【満足感】  
【意欲】【期待感】

もっと、飛ばそうよ。【チャレンジ】

〇〇ちゃんみたいに、飛ばしたい。【あこがれ】  
【チャレンジ】

■子どもたちの遊びたいという気持ちを高めるように遊んで見せる。

■子どもたちに遊び方を知らせ、子どもたちがよく飛ぶ方法を発見できるように、しばらく様子を見守る。

- ・1人がポリ袋に空気を吹き込み、紙コップをかぶせる。
- ・もう1人がポリ袋をつぶし、紙コップを飛ばす。

■とまどっている子どもには、「ここを持ってあげてね。」と声をかけたり、保育者が手助けしたりするなど、どの子どもも飛ばすことの喜びを実感できるようにする。

■遊んでいるうちに壊れた紙コップロケットを、「穴があいたね。セロテープを貼ろうね。」などと声をかけながら一緒に直すようにする。

■飛ばし方を発見したり工夫したりしている様子を認め、もっと飛ばしたいという気持ちにつなげるようにする。

■「紙コップロケット飛ばし大会」として、子どもたちの出番を作り、一人一人の発見や驚きを他の子どもたちに伝える。

■友達の飛ばし方をまねしてやってみたいという気持ちに応えるように、紙コップロケットを飛ばす十分な時間を確保する。

【評価】

・紙コップロケットをもっと「高く」「遠く」飛ばしたいという気持ちを持ち、何度も飛ばすことを楽しんでいる。

3歳児 活動事例4

おうちを作ろう（10月）

観点（人とのかかわり） 視点（協同性 〜いっしょにやろうよ〜）

【遊びの経過】

安心して園での生活ができるようになり、個の遊びから少しずつ集団でかかわりながら遊ぶ姿が増えてきた。ままごと遊びをもっと楽しみたいという気持ちから、おうちを作ろうということになった。

【ねらい】

友達と話をしながら、ままごと遊びで使うおうちを一緒に作ることを楽しむ。

【○幼児の活動 ★環境の構成 ■保育者の援助】

★作りたいおうちのイメージをもてるように、ままごと遊びで使ってきた道具を近くに置く。

○どんなおうちでままごと遊びがしたいか話し合う。

屋根があったらいいな。【思考】

みんなが入れるおうちがいいな。【期待感】

大きいおうちがいいな。【期待感】

椅子がある。【期待感】

窓があったらいいな。【思考】

- 自分の思っていることを発表でき、認め合える雰囲気づくりに努める。
- 子どもたちが発言した気持ちを受け止めながら、それぞれの思いを生かしたおうち作りとなるよう仲立ちをしていく。
- 一人一人思いを生かしたおうちになるようにイメージ図をかき、子どもたちがこれから作るおうちのイメージをもてるようにする。

★子どもたちが家から用意してきたおうち作りに必要な材料や道具を準備しておく。

○おうちを作ることを楽しむ。

色塗り

早く遊びたいなあ。明日遊べるね。【期待感】

飾り作り・模様付け

ねえ、手伝って。【人とのかかわり】

ほら見て、上手に塗れるでしょ。【満足感】

もっといっぱいつけるよ。【意欲】

いいよ。【協力】

ここも塗る。〇〇ちゃん、塗って。【意欲】  
【人とのかかわり】

どのくらいの大きさにちぎろうかな。【共有化】

ここにも貼らなくちゃ。【意欲】

- 自分で選んで遊べるように、「色塗り」「飾り作り」などのコーナーを作る。
- 友達とやりとりをしながら一緒に色を塗ったり模様付けをしたりできるように、筆やのりなどの数を人数分置かないなどの工夫をする。
- それぞれのコーナーで作ったものを一つに合わせて大きなおうちにする事で、友達と一緒に作った喜びが感じられるようにする。

おうちに入ってみる

いいのができたなあ。【満足感】  
【充実感】

みんなが入れて、うれしいな。【期待感】

みんなですぐままごとをしよう。【期待感】

【評価】

・ままごと遊びをもっと楽しみたいという気持ちで、友達や保育者と会話ややりとりをしながらおうちを作っている。